

(株)苫東 第13回経営諮問委員会の概要

- 1 日 時 平成21年5月22日(金) 15:00~15:40
- 2 場 所 苫小牧市表町4丁目3番1号 グランドホテルニュー王子 2階 牡丹の間
- 3 出席者 10名中7名出席
- 4 議題及び議事要旨
 - (1) 委員長代理の選任について
北海道経済連合会会長の近藤委員を委員長代理として選出したい旨、各委員に諮ったところ全員の了承により決定された。
 - (2) 最近の苫東を巡る状況について
平成20年度の方譲は、(株)ダイナックス他4件分譲契約を締結したこと、また、臨海臨港地区で総合物流ターミナルゾーンや臨海東地区でのリサイクルゾーンの造成・基盤整備などについて説明がなされた。
 - (3) 平成20年度決算見込について
用地の引渡しは4件9.2haとなり、売上高約18.4億円、営業利益約3.4億円、経常利益約3.6億円となったことについて報告がなされた。
 - (4) 内部留保と株主還元について
平成20年度決算見込みを基に試算した結果、事業運営に必要な資金及び臨海臨港地区基盤整備資金等を留保した上で、563百万円(500円/株)の株主還元を行いたい旨説明がなされた。
 - (5) 平成21年度事業計画等について
平成21年度は、分譲目標9ha、総売上高約19億円、経常利益3億円を目指すとともに、株主還元についても継続していく旨報告された。

これらの説明を受けて、次の意見があった。

日本の中では例外的にスペイシーな環境にある苫東の特性を生かし、中長期的な国策を背負うような他とは差別化した中核プロジェクトを構想する時代にある。

苫東の優位性の一つに空港と港湾がある。これを踏まえた宇宙と海洋という視点の中で中核プロジェクトを考えることも重要。

宇宙と絡めたロボット産業の中核開発センターや関連産業の誘致ができれば、苫東のイメージが一新される。

リサイクルを含む地上資源や海洋資源を中核に据えることも考えられる。

太陽光や風力など環境エネルギー関連産業への誘致活動は大変意味のあること。

北海道は国内で唯一食料供給力を持った地域であり、将来のアジア太平洋地域への食料輸出拠点として農業や水産業を作り上げていく実験も面白い。

以 上